

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	予算編成・執行に係る歳出削減事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	財政調整課		
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	安井 彰		

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市の歳出予算	意図	無駄を省き、歳出予算を確保する。
事業内容	歳出予算について、予算編成や予算執行を通して、無駄を省き、必要な事業に費用が振り分けられるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・入札による業者選考を原則として、経費の削減を図った。 ・予算編成時には経常経費の削減のため、各部ごとに枠配当の範囲内で納める努力をした。 ・引き続き扶助費等の増加や大規模な新たな社会資本整備事業が開始されることもあり、歳出削減は、厳しい状況となっている。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,589,000	3,493,500	3,454,633			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		3,589,000	3,493,500	3,454,633			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	予算査定などを通して、経費の一層の削減を図るとともに、各担当課に対しても意識づけを図る。	取り組みの課題	今後、下期実施計画の策定にあたり、財政の見通しと計画事業の財源との整合を図っていく必要がある。
今年度(H26)に実施した取り組み	緊急経済対策を活用し、各種事業の財源確保に努めた。	今後の改善計画	予算査定の方法や経常的経費の取扱いなどを検討する必要がある。